

●当初の課題・事業目的

未就学児に対する施設が多い地域にもかかわらず子育て世代の地域活動への関心が薄いことを第一の課題とし、各地域活動団体の高齢化が進むなか、次世代の力となる層への働きかけの一步として、乳幼児、未就学児、児童、異世代交流のイベント活動を通して安心して楽しく暮らせる地域であるためにニーズを明確にする。



会長 山谷 邦治

●事業概要

- 7/23 離乳食レッスン・子育て相談会 講師：栄養士・栄養教諭 日向倫子さん 参加者数：6人
- 9/24 まちづくりカフェ 小学生とともに 小学生12人がお手伝いとして参加
- 11/18.19 青空おはなしの会 講師：酒井陽子さん 参加者数：子ども24人、大人40人
- 1/7 親子、地域住民交流 花とインクアートで作品を作しましょう

講師：アトリエウィズ Ink Artist 川井美樹さん 参加者数：親子11組24人、地域住民10名

各イベントでアンケート調査を実施。

小学校の協力もあり、カフェの小学生お手伝い募集には、12人の募集に70人の応募があり、当日には保護者友人などが多数来店。来年の開催も期待されている。



●事業の成果・工夫した点

不登校児からのカフェ小学生お手伝いの希望があり、教頭先生とも相談のうえ、参加してもらった。当日はいきいきと活動。いろいろな形で居場所づくりの役割も果たせた。

商店街の催しとコラボしたことで、日頃地域の活動を知らない人に働きかけることができた。

●苦勞した点・今後の課題

地域内のポスター掲示、回覧だけでは周知がいき届かなかった。

アンケート調査に関しては、対面で賞品を付けると回答が集まるが、ポスター、回覧、お手紙ではほとんど回答がなかった

アンケート結果でイベントへの期待は大きいですが、質、投資（金）、人材が課題。

●代表者の感想

子育てしやすい街は地域コミュニティを基本として成り立っていくものだと再認識。

商店街があることでイベントへの期待値が大きいこと、空き店舗のキッズステーション、児童館的な施設の必要性など。ただし地域では解決できない問題をあげるアンケートも多く、行政との連携も視野に入れて考えていくべき課題の一つとなるでしょう。